

企業内データをボタンで活用するNJKのBIソリューション DataNatureが操作性を一段と高めてバージョンアップ

株式会社エヌジェーケー

株式会社エヌジェーケー（東証二部、本社：東京都目黒区中目黒4-8-2、代表取締役社長：谷村直志、以下NJK）は、企業内にあるデータを簡単なボタン操作で戦略的に活用できるBIソリューション「DataNature/E（エンタープライズ）」について、定評のある操作性をより一層向上させるとともに、分析結果のレポート出力機能を強化するなど、合計55項目に及び機能改良を施したバージョンアップ製品「DataNature/E ver.2」を、2005年12月中旬より発売開始いたします。

また、同スタンドアロン製品「DataNature4」についても、バージョンアップ製品「DataNature5」を、2006年1月下旬より発売開始いたします。

さまざまな基幹データを分析活用するビジネス・インテリジェンス（BI）ツールのIT戦略上の重要性は、国内企業においてもかつてないほどに高まっており、従来の「あったらいいツール」から「なければ困るツール」へと、BIツールは大きく変化しています。もはや、導入するか否かではなく、誰が何のためにどのように活用するかを多くの企業が具体的に検討する段階になってきています。

しかし、一方では、「導入コストが高い、導入から運用開始までに時間と手間がかかる、環境変化に柔軟に対応できない、高機能なツールを導入したにも関わらず難しくて使えない」などという声も相変わらず多く、投入コストに見合う効果が得られないのではないかと、この課題も指摘されています。

NJKは、DataNatureの発売当初（1996年5月）より、ボタン・ユーザー・インターフェース（以下、BUI*1）を核とした独自技術を駆使しながら、これらの課題と正面から向き合い、製品開発に取り組んでまいりました。

「小さなIT投資に大きな効果で応える」、それがDataNatureです。

今回のバージョンアップでは、DataNatureの基本コンセプトである「誰でも簡単に使える」という操作性に、さらに磨きを掛けることで、BIツールを初めて利用される方にも、「見やすく、分かりやすく、使いやすい」データ活用分析環境を提供することに主眼を置きました。

発売当初から高い評価をいただいているBUIはそのままに、操作をアシストする機能を新たに搭載し、視認性を高めた画面周りの刷新によって、これまで以上に直感的で操作性の高い「確実に使える」BIソリューションを実現いたしました。

また、サーバー管理ツールについても、管理者の効率的な作業を実現するための操作、表示の大幅な変更や、接続クライアント管理、各種ログの充実などの機能強化を図りました。

さらには、従来、簡易な機能にとどまっていた帳票出力について、サーバー・スケジューラーによる定型自動実行機能を拡張し、分析した階層付き集計データなどを自由に編集可能なExcel形式ファイルとして自動出力し、社内Web環境や共有フォルダに公開したり、CSV形式ファイルを自動出力することで、他社帳票設計ツールとも連携でき、企業各社固有の帳票にも対応可能となるWebレポート機能をオプションとしてご用意しました。

充実した機能を安価でご提供する DataNature は、企業エンドユーザー部門における実効性ある情報分析活用を実現いたします。

なお、販売本数は、来期末（2007 年 3 月）までに、**DataNature/E ver.2** が 250 セット、**DataNature5** が 5,000 本を目標としております。

以 上

*1 BUI は、データや情報活用をボタン操作で実現する新しいコンセプトに基づく技術です。
日、米、欧で特許を取得しています。

参考資料

■バージョンアップのポイントについて

1. 操作性の向上

1) 操作アシスト機能の搭載

- 簡易ウィザード
ファイル読み込みからボタン画面へと導くなど、主立った画面展開を簡易ウィザードで操作できるので、初めての方でも気軽にデータ活用を始められます。
- ポップアップ・ヒント・メッセージ
マウスに合わせて該当機能の使用方法がポップアップ表示されることにより、操作者に「次のアクションに繋がる」ヒントをお知らせします。
- 逆引きリファレンス（ユーザーズ pdf マニュアル、ヘルプ）
「こんなことがしたい」という活用ニーズから操作方法を調べられる専用チャプターをご用意します。機能と操作を事前に覚えなくても、目的のアウトプットを得るための操作の流れ（機能の組合せ）を参照することができます。

2) ユーザー・インターフェースの刷新

- クライアント画面
1クリックでも少ないタッチ数で目的のアウトプットを得られる改良を施すとともに、全画面の機能アイコンをイメージアップして共通化（必要な機能アイコンだけを自由に選択配置可能）、マウスの動きに合わせた分析対象ボタンの強調表示、リスト/ビュー（クロス集計）画面のデータ表示件数アップなど、視認性が高く直感的に操作しやすいデスクトップとなりました。また、グラフ画面の要素色数アップ、項目切り替え操作の簡素化、ビュー画面同時表示バリエーションの追加なども図りました。
- サーバー画面*2
表示系、操作系のユーザー・インターフェースをすべて Windows 標準に準拠させ、Windows を使い慣れた管理者の目的にマッチした違和感のない画面と、設定作業効率を高める操作性を実現しました。また、面倒な設定作業の操作をショートカットできる簡易ウィザードも利用できます。

2. レポート機能の強化

1) 階層付きクロス集計データの出力機能

多段階階層付き^{*3}クロス集計データを CSV 形式ファイルに保存したり、クリップボードに格納することができます。DataNature から任意のアプリケーションを起動して、そのデータを転送（貼り付け）することにより、集計データの加工編集、簡易帳票出力等が可能となります。

2) 集計データの CSV 形式ファイルへの自動出力機能（サーバー機能）^{*2 *4}

クライアントで定型登録された、多段階階層付き^{*3}クロス集計データ等を、サーバー・スケジューラーを利用して、任意のフォルダへ自動的に出力（CSV 形式ファイル保存）することができます。CSV 形式ですので、他社の帳票設計ツールとも連携でき、企業各社特有の帳票を作成することも可能となります。

3) 集計データの Excel 形式ファイルへの自動出力機能（サーバー機能）^{*2 *4 *5}

前述 2)と同様に、集計データを Excel 形式ファイルに自動出力（保存）することができます。使い慣れた Excel を利用して、自由自在に帳票等のレポートングが可能となります。また、Excel 形式ファイルの自動出力後に、任意の Excel テンプレートファイル^{*6}への連携（マクロの自動実行を含む）を設定すれば、DB からの最新データ抽出から、クロス集計、帳票レイアウトまで、一連の作業を全て自動化して運用することもできます。

4) Web 公開/非公開モードの採用（サーバー機能）^{*2 *4 *5}

前述 3)を Web 公開モードで実行すれば、社内イントラネット環境等で Web ブラウザ上に当該集計データを展開し、閲覧や Excel による加工編集を行うことができます。また、Web 非公開モードで実行した場合には、データを保存する任意の共有フォルダを指定することができますので、出力情報を取り扱える利用者を限定するなど、データの重要度に合わせた運用を行うことができます。

3. サーバー管理ツールの強化

1) クライアント操作環境の統一機能^{*2}

クライアントに表示する機能アイコンの種類や配置、各種オプション情報の設定などを、サーバー管理ツールから自動配信して集中管理することができます。重要なデータを外部媒体へ保存しないようファイル書き込み操作を禁じるなど、部門で統一したクライアント分析活用環境を維持することができます。

2) 接続クライアント管理と各種ログの充実^{*2}

現在の接続状況を参照し、不要なクライアントを強制切断して、同時接続ライセンス数を効率よく利用することができます。また、サーバー管理ツールでの各種設定作業内容をログ化することにより、不慮の障害に対していち早く解析対応することが可能となりました。これらのログ情報はカスタマーサポートセンターへもメールを利用してその場で転送することもでき、お客様の障害状況を詳しく調査できることにも繋がります。

4. 分析機能の向上

1) レーダーチャートへの対応

グラフの種類にレーダーチャートを追加しました。個別のデータ項目が持つ特徴（強み、弱み、偏り等）を、視覚的、直感的に捉えられます。また、棒・折れ線・円の各グラフでは、任意の値で水準線を引くこともでき、採算ラインなど分析判断を助ける機能も追加されています。

2) 加重平均への対応

リスト集計の集計方法に加重平均を追加しました。集計対象のウェイト（重み）を考慮した値で分析することができますので、製造業（例えば歩留まり率）や企画調査統計など、データ分析活用の適用範囲がさらに広がりました。

5. 携帯電話 BUI ソリューションとの連携^{*2 *4 *7}

DataNature/E ver.2 と携帯電話 BUI ソリューションを連携するためのモジュールが搭載されています。例えば、サーバー・スケジューラーにより定型自動出力された HTML 形式ファイルの情報を、BUI が搭載された外部の携帯電話で自在に取り出すことができます。携帯電話上で BUI によるボタン絞り込み検索を行い、検索したデータ項目に対応する最新集計データを、簡単に閲覧参照するような運用が可能となります。

*2 **DataNature5** では利用できません。

*3 最大 8 階層×8 階層まで設定可能です。ただし、PC 環境の空きメモリ容量、対象集計データの大きさによって、出力される階層数が制限される場合があります。

*4 別途「Web レポート機能」オプションが必要です。

*5 サーバー環境に Microsoft Excel がインストールされている必要があります。

*6 自動出力された集計データ内容と、Excel テンプレート内容との整合性等は保証できません。連携時の動作と結果は、お客様ご自身でご確認いただきます。

*7 別途「携帯電話 BUI ソリューション」が必要です。

■動作環境

1. DataNature/E ver.2

1) サーバー

OS： Microsoft Windows 2000 Server / 2000 Professional /
Server 2003 / XP Professional

メモリ： 512MB 以上（推奨 1GB 以上）

HD 容量： 50MB 以上の空き容量（インストール時）

解像度： 1,024×768 ドット以上

2) クライアント

OS： Microsoft Windows 2000 Professional / XP Professional

メモリ： 128MB 以上（推奨 512MB 以上）

HD 容量： 50MB 以上の空き容量（インストール時）

解像度： 1,024×768 ドット以上

3) その他

・ネットワークプロトコル（TCP/IP）が必要です。

・データベースからデータを抽出する場合には、その RDBMS に対応した ODBC ドライバ（Ver.2.0 以上）が必要です。

・Web レポート機能（オプション）の「Excel 形式ファイルへの自動出力機能」を利用する場合には、サーバー、クライアントともに、Microsoft Excel（Excel 2000 以上）が必要です。

2. DataNature5

OS： Microsoft Windows 2000 Professional / XP Professional

メモリ： 128MB 以上（推奨 512MB 以上）
HD 容量： 50MB 以上の空き容量（インストール時）
解像度： 1,024×768 ドット以上

■標準価格（予定） * 金額：税抜き価格

1. DataNature/E ver.2

- 基本セット（1サーバー、同時接続5ユーザー） ￥1,100,000-
* 現行バージョンでは別売だったサーバー管理ツール「DB アクセス機能」を標準機能として搭載します。
- 同時接続追加ライセンス ￥500,000-（5ユーザー）～
- Web レポート機能オプション ￥1,500,000-
- MetaFrame 接続機能オプション ￥500,000-
- 年間保守契約 標準価格合計の 15%

2. DataNature5

- 基本パッケージ（1クライアント） ￥78,000-
- 追加ライセンス ￥250,000-（5クライアント）～

■バージョンアップ・キャンペーン（予定）

DataNature の現行バージョンをご購入いただき、正規ユーザーとして登録されているお客様を対象として、2006 年 3 月 31 日までの期間において、バージョンアップ・キャンペーンを実施いたします。キャンペーン期間中は、キャンペーン特価にて販売いたします。

■本件に関する問い合わせ先

- ニュースリリース

株式会社エヌジェーケー
経営企画部
遊佐 英彦（ゆさ ひでひこ）
〒153-8641 東京都目黒区中目黒 4-8-2 NJK ビル
TEL : 03-5722-5700
E-MAIL : yusa-hd@njc.co.jp
URL : <http://www.njk.co.jp/>

- 製品

株式会社エヌジェーケー
ソフトウェアパッケージ事業部マーケティング統括部
南 滋樹（みなみ しげき）
〒153-8641 東京都目黒区中目黒 4-8-2 NJK ビル
TEL : 03-5722-5766
E-MAIL : minami-sg@njc.co.jp

* 本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の商標または登録商標です。